

# 平成27年度 学校評価（自己評価書）

あま市立宝小学校

## 1 総括

### （1）教育目標（学校経営案より）

#### 「やさしい心 つよい体」

知・徳・体の調和のとれた人間形成をめざして、基礎・基本を重視しつつ個性と創造性を伸張し、生きる力と人間性豊かな児童の育成を図る。

### （2）本年度の重点努力目標

#### ア 基礎学力の定着

- ・ 承認図指導やT T指導の指導方法を工夫し、子に応じた学習指導の充実を図る。
- ・ 国語タイムを活用し、言語活動の充実を図る。
- ・ ICTを活用した効果的な学習形態の充実を図る。
- ・ 習得した知識・技能を活用して思考力・判断力・表現力の「3つの力」を育成する。

#### イ 心豊かな児童の育成

- ・ 「宝っ子6つの約束」の実現をめざし、規範意識の醸成に努める。
- ・ 学び方を学ぶための異学年交流の場を設定し、広い視野をもった児童の育成に努める。
- ・ 道徳の時間を核に、自己肯定感と責任感の両面において調和のとれた児童の育成に努める。
- ・ 「全校で1年生を育てよう」を合言葉にし、小一プロブレムの軽減に努める。
- ・ 心豊かな児童を育成するために学級経営の方法を学び合える場を設定する。

#### ウ 家庭・地域の教育力の活用

- ・ 保護者・地域ボランティアを従業などに積極的に活用し、学校理解を図るとともに家庭や地域との連携を深める。
- ・ キャリア教育の充実をめざし、体験活動を通して互いに高めあう仲間づくりや勤労観の育成に努める。
- ・ 伝統工芸「七宝焼」とのかかわりを核に地域との交流を広げる。

## 2 自己評価の実施体制

（1）調査時期 平成27年12月（保護者・児童・教職員）

平成28年 2月（学校評議員）

（2）調査項目 別紙アンケート結果参照

（3）調査対象（有効回答者数／対象者数）

- |      |            |        |            |
|------|------------|--------|------------|
| ・児童  | 175名／全176名 | ・保護者   | 171名／全176名 |
| ・教職員 | 10名／全10名   | ・学校評議員 | 4名／全4名     |

## 3 調査結果

別紙アンケート結果参照

#### 4 考 察【児童、保護者、教職員、地域等の総括的考察】

- (1) 全体を通して、16項目中児童は13項目、保護者は13項目、教職員は10項目の評価が同じもしくは高くなっている。児童、保護者、教職員の三者が全て昨年度と比べて満足度が高くなっていることが分かる。
- (2) 昨年と比べて際立って評価が高くなっている項目は、「学習の習慣を付ける児童の育成」であった。これは、基礎・基本の定着を図って出される宿題を家庭学習としてアンケートの質問を変えたことによるものである。評価もAに上がった。
- (3) 「人間関係」についての評価は、昨年度、二つの項目でBがAになり全ての項目がAになった。今年度も全ての項目がAとなった。児童の評価は全ての項目で、保護者の評価は、ほぼ全ての項目で同じもしくは、上がっている。特に「児童を支援する共感的な教育相談の充実」は、三者全ての評価が上がっている。

#### 5 成果と課題

- (1) 「地域の教育力を生かした教育活動の推進」では、児童・保護者・教職員とも評価が同じもしくは上がっている。数年前よりお世話になっているスクールガードとの関わりを中心にいろいろな方面の地域との関わりが推進されてきた。特別なことでなく日常的に出前授業等が行われるようになってきている。評価は、児童が3.6に届いていない。
- (2) 「指導方法を工夫し、児童に力をつける」において、児童・保護者・職員とも評価は同じもしくは上がっている。授業研究等で自ら課題をもって取り組んだり、協議した授業研究の成果を次の実践に生かそうとしたりする職員の姿勢が表れている。これも、児童の評価が3.6を下回っている。
- (3) 保護者の評価が下がった項目の中で3.6以下のものは「豊かな心を育む読書指導」である。児童、教職員とも3.6以上の評価をしている。保護者の評価が低いのは、家庭で読書をする姿があまり見られないためであろう。

#### 6 改善策

- (1) 地域との関わりでは、内容のみでなく関わること自体で多くのことを学ぶことができる。そうした学びを子どもたち自信が気づき自覚することができるように、地域の方との接し方やマナーを事前に教えるなどの手立てを活動毎に行うようにする。活動を振り返る際には、自らの成長を感じさせ、良い経験をしたと思うように教師が子どもたちの良い面を賞賛する。
- (2) 児童が自ら考え、主体となって学習することのできる体験活動や問題解決学習を取り入れた授業づくりに努め、進んで考えることの楽しさを味わわせたり、各単元や授業の中に具体物を操作する活動を入れた指導計画を立てたりする。
- (3) 学校で読書に親しんでいる姿や図書の整備状況を積極的に発信したり、公開授業等で読書に親しむ場を設けたりする。